

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年5月24日～2018年5月30日)

平成 30 年(2018 年)6 月 1 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>カチンスキ「法と正義」(PiS)党首の病状に関するマズーレク党報道官の発言 障害者家族団体による抗議運動の終了 パホル・スロベニア大統領、ポーランドを訪問 ソロフ国家安全保障局長官、デンマーク訪問 ポーランド・ルーマニア政府間協議の開催 ストルテンベルグNATO事務総長、ポーランドを訪問 欧州委員会、2021-2027年の結束政策・共通農業政策等の国別割当額案を発表 チャプトヴィチ外相、国連安保理に出席 ロシア、ポーランド国際問題研究所所長の入国を拒否 ロシア議会高官、米軍のポーランド展開に警鐘</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。 問合せ先 大使館領事部 電話 22 686 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>治安等</p> <p>警察、中国からの違法たばこ密輸を摘発 ブルジンスキ内務・行政大臣、ポモルスキエ県の内務・行政省傘下の制服組織本部長と会談 警察のフリーガン取締り状況 警察、脱税の疑いで中国ショッピングセンターを捜索 国境警備隊、イラク人密入国者を摘発 ドゥダ大統領、スピード違反時の免許証没収規定に関する例外措置の導入法案に署名 警察、詐欺の容疑でナイジェリア人を拘束 国内のテロ脅威に関するジャリン特務機関調整相付報道官の発言 警察の対テロ部隊への新型ヘリコプター配備決定</p>								
<p>経済</p> <p>企業別年金制度法案の修正案 労働許可申請手続の迅速化 資源ゴミ集積場火災事案への政府対応 4月の財政収支 クフィエチンスキ投資・開発大臣、港灣の強化について言及 アサヒグループHDにおける中東欧戦略 クフィエチンスキ投資・開発大臣、新たな投資政策への期待感を表明 ポーランドのスーパーコンピュータに関する取組 中国等からのポーランド政府に対する原子力発電所に関する提案 太陽電池パネル設置数の増加</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について 国際機関への就職に関心がある皆様へ 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事 読者からのお知らせ</p>								
<p>在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

政 治

内 政

カチンスキ「法と正義」(PiS)党首の病状に関するマズレーク党報道官の発言【24日】

24日、マズレークPiS報道官は、カチンスキ党首が膝の手術を行い、今後リハビリが予定されていると明らかにし、退院までの期間は担当医師が決定する旨述べた。

障害者家族団体による抗議運動の終了【27日】

27日、障害者家族団体の代表は、4月18日から下院内で継続していた抗議運動を一旦終了すると発表し、同団体は下院から退去した。ドゥダ大統領は、本決定に関し、今次抗議運動には勝者も敗者もなく、障害者及びその家族との更なる対話を可能とする賢明な判断である旨述べた。

外交・安全保障

パホル・スロベニア大統領、ポーランドを訪問【23日】

23日、パホル・スロベニア大統領がポーランドを訪問し、ドゥダ大統領とワルシャワで短時間会談を行った。両大統領はその後、南東部ゴルリツェにある、1915年5月のゴルリツェの戦いで戦死したオーストリア＝ハンガリー、ドイツ及びロシアの兵士の墓地において、戦死したスロベニア兵を記念する像の除幕式に出席した。

領は、ポーランドの観点からは、NATO部隊(前方地域プレセンス強化(eFP)大隊)の存在は喜ばしいとしつつ、7月のNATO首脳会合において、NATOの機能円滑化、すなわち、eFPが軍事活動に至った場合の対応、そのための同大隊の強化に関する決定について検討する必要があると述べた。また、ブワシユチャク国防大臣は、より効果的なNATO司令部及び詳細な防衛計画が必要であると述べた。

ソロフ国家安全保障局長官、デンマーク訪問【23～24日】

23～24日、ソロフ国家安全保障局長官は、デンマークを訪問し、ヘプソン首相安全保障補佐官、ヴィセラップ参謀総長等と会合を行い、7月のNATO首脳会合に向けた協議、二国間安全保障協力、北東多国籍軍団司令部の役割強化、バルト海の安全保障情勢等について意見交換を行った。

欧州委員会、2021－2027年の結束政策・共通農業政策等の国別割当額案を発表【29日】

29日、欧州委員会は、2021－2027年の結束政策、共通農業政策等の基金の国別割当額案を発表した。同案によれば、ポーランドの結束政策基金の割当額は引き続き受益国中最大であるが、2014－2020年期の約23.3%(約200億ユーロ)減となる644億ユーロとなっている。モラヴィエツキ首相は同案には賛同しないと述べた。

ポーランド・ルーマニア政府間協議の開催【25日】

25日、ダンチラ・ルーマニア首相、メレシュカーヌ同外相、フィオル同防衛相等がポーランドを訪問し、ポーランド・ルーマニア政府間協議が行われた。モラヴィエツキ首相はダンチラ首相とEU結束政策・共通農業政策、安全保障、エネルギー政策、ノルドストリーム2ガスパイプライン計画等について協議し、両国にとって特に重要なのは高速道路網「ヴィア・カルパチア」事業のようなインフラの結合であると述べた他、ルーマニアのシェンゲン協定圏入りへの支持を強調した。

チャプトヴィチ外相、国連安保理に出席【29日】

29日、チャプトヴィチ外相は、国連安保理でウクライナ情勢に関するブリーフィングを行った。同外相は、ドンバスにおける紛争解決における国連の実質的な取り組みを示すとしてウクライナ問題担当特使を提案した。同外相はまた、ロシアによる独立国に対する攻撃的な振る舞い及びクリミアの違法な併合は明白な国際法の基本原則違反であると述べた。

ストルテンベルグNATO事務総長、ポーランドを訪問【28日】

28日、ストルテンベルグNATO事務総長が、NATO国会議員会議(PA)春季総会のためにポーランドを訪問し、ドゥダ大統領、モラヴィエツキ首相等と会談した。ドゥダ大統領は、NATOが今後実現すべき全ての主要な事項につき合意したと述べた。同大統領

ロシア、ポーランド国際問題研究所所長の入国を拒否【29日】

29日、露入国管理官は、モスクワ・ドモデドヴォ空港に到着したポーランド国際問題研究所(PISM)デンプスキ所長の入国を拒否した。同所長は、露側から査証無効化及び3年間の入国禁止措置がとられたと述べた。パピエシュ外務次官は、アンドレエフ駐ポーランド大使に説明を要求し、同大使は、本件がロシアの政治学者2名が、昨年、シェンゲンエリアへの入域をポーランドの決定に基づいて拒否された

ことへの報復であると述べた。

ロシア議会高官、米軍のポーランド展開に警鐘【29日】

セレヴレニコフ・ロシア連邦議会安全保障委員会第一副委員長は、米軍がポーランドに展開した場合、ロシア国防省は必要な処置を執る準備が出来てい

る旨述べた。また、同外交委員会第一副委員長は、ポーランドの米軍基地は危険な処置であり、紛争があった場合、ポーランドは主要な攻撃目標になる旨警告した。他方、大統領報道官は、ポーランドに米軍基地が出来ても、大陸の安全と安定には影響を及ぼさないと述べた。

治 安 等

警察、中国からの違法たばこ密輸を摘発【24日】

24日、警察は、グダンスク港で違法たばこ1,800万箱(末端価格1,200万ズロチ相当)の密輸を阻止した旨発表した。同たばこは、複数の船便で中国から送られたもので、特殊器機を用いた検査の際に密輸が発覚した。違法たばこは、当地の犯罪組織の資金源の1つであり、国内では犯罪組織の運営する違法たばこ密造工場も存在し、定期的に国境警備隊等が摘発を行っている。

ブルジンスキ内務・行政大臣、ポモルスキエ県の内務・行政省傘下の制服組織本部長と会談【24日】

24日、ブルジンスキ内務・行政大臣は、警察、消防、国境警備隊など内務行政省傘下の制服組織のポモルスキエ県本部長と会談し、同県で開催される夏期の大規模イベント等に対する警戒強化を指示した。

警察のフリーガン取締り状況【24日】

モラヴィエツキ首相の指示を受け、警察はフリーガンに対する取締りを強化している。警察はサッカーチームと協力してフリーガン対策に取り組んでおり、国内でフリーガンによる暴行事件は年々減少傾向にあるが、現在も散発的にフリーガン同士の乱闘や小競り合いが散発的に発生している。2017年に警察に逮捕されたフリーガンの総数は1,692人で、このうち234人はいまだに警察に身柄を拘束されている。

警察、脱税の疑いで中国ショッピングセンターを捜索【25日】

25日、警察は税務署と共同でワルシャワ近郊のヴルカ・コソフスカに所在する中国ショッピングセンターを捜索し、脱税に関与した容疑で中国人2人を逮捕した。同ショッピングセンターは、違法行為が行われているとして、度々警察の捜査対象となっている。今次捜査で、警察は、店舗スペースや倉庫についても捜索を行い、容疑者の携帯電話、パソコン、外貨等を押収した。

国境警備隊、イラク人密入国者を摘発【25日】

25日、国境警備隊はワルシャワ・ベルリン間を結ぶ高速バス車内で、イラク人密入国者2人を拘束し

た。身分証検査の際、両人はギリシアの身分証明証を提示したが、これは盗難された身分証明証を偽造したものであった。両人は外国人センターに収監されており、強制送還される見込み。

ドゥダ大統領、スピード違反時の免許証没収規定に関する例外措置の導入法案に署名【29日】

29日、ドゥダ大統領は、スピード違反時の免許証没収規定に関する例外措置の導入を定めた改正法案に署名した。同改正法は、官報での公示から14日後に発効する。現在、ポーランドでは、都市部で時速50キロ以上の速度超過が確認された場合、交通警察がその場で運転手から免許証を没収することとなっているが、今後、妊婦の病院への緊急搬送など、緊急性があり、道路安全性よりも優先的な保護が必要と警察官が判断した事案については、免許の即時没収は行われなくなるとなる。

警察、詐欺の容疑でナイジェリア人を拘束【29日】

29日、警察は、ヴロツワフで27歳のナイジェリア人を拘束した。同人は、インターポールに国際指名手配された犯罪組織のメンバーで、電子メール等を利用して、いわゆるナイジェリア詐欺を繰り返していた。同人が関与した詐欺の被害総額は700万米ドルにのぼる。

国内のテロ脅威に関するジャリン特務機関調整相付報道官の発言【29日】

29日、当地の情報機関を統轄する特務機関調整大臣付のジャリン報道官は、同日、ベルギーのリエージュで発生した警察官襲撃・立て籠もり事件に言及し、ポーランドの情勢は安定しており、国内のテロ脅威レベルは依然低いと評価している。公安庁(ABW)からテロ警戒レベル引き上げに関する情報も上がっていない、などと述べた。

警察の対テロ部隊への新型ヘリコプター配備決定【30日】

30日、警察は、新型ヘリコプター・ブラックホークS-70iの購入を発表した。同ヘリコプターは、2018年末までに対テロ部隊に配備される。本件に関し、ブルジンスキ内務・行政大臣は、警察のヘリコプター

は老朽化が進んでおり、現在使用中の機体で最も古いものは47年前の製造、最新の機体でも13年前の

製造であるなどと述べ、機体更新の必要性を強調した。

経 済

経済政策

企業別年金制度法案の修正案【28日】

財務省は、各種協議の結果を踏まえ、企業別年金制度(PPK)法案の修正案を発表した。修正内容には、月額給与2,100ズロチ以下の従業員の最低負担額の引き下げ(2%から0.5%)、PPKからの脱会を従業員に薦める雇用主への罰則の削除、積立金を加入者の個人資産とすること、(運用会社が支払う)PPK インターネット・ポータルへの加入金の100万ズロチから75万ズロチへの引き下げ、ポーランド開発基金(PFR)に支払う月額手数料の引き下げ(1ズロチから0.2ズロチ)などが含まれている。協議は6月14日まで実施され、2019年1月1日の施行を予定している。ただし、PFR 総裁は、技術インフラの整備に9か月程度要するとし、現実的には導入は2019年後半となるとの見通しを示している。

労働許可申請手続の迅速化【29日】

4月1日から、マウオポルススキエ県事務所は労働許可申請手続にファスト・トラック制度を導入した。申請書に不備がなければ、手続は7営業日で完了する。また、マゾヴィエツキ県事務所は、ウェブプラットフォーム(Praca.gov.pl)上から提出された申請について、正確な書類が全て揃っている場合、待ち時間を4営業日に短縮することを計画している。2018年1月～4月の期間中、46万件の外国人雇用希望登録、10万件の労働許可証の発給が行われた。これらの大半のケースで社会保障費が支払

われており、労働市場に好影響を与えているとされる。社会保障費を支払う外国人労働者の数は上昇傾向にあり、2018年4月時点で約50万人、うち70%をウクライナ人労働者が占めた。

資源ゴミ集積場火災事案への政府対応【29日】

環境省によると、2018年に入ってからゴミ集積場における火災が62件発生している。中国は欧州からの資源ゴミの5分の1を受け入れていたが、中国の輸入禁止措置以降、英国やその他諸国の業者からより多くの資源ゴミがポーランドのゴミ集積場に輸送されるようになった。ポーランドには廃棄物の受入量を制限する法律はなく、1トンあたりの引き取り価格は250～300ズロチとなっている。モラヴィエツキ首相は、29日の記者会見において、ゴミ集積場火災事案について公安庁(ABW)に通報するとともに、検事総長に捜査を依頼したと述べた。同首相は、ゴミ集積場火災は組織的に行われている可能性があり、そのような行為は容認されないと強調し、コヴァルチク環境大臣に規制改革に関する詳細な提案を含む行動計画の策定を指示したと発表した。コヴァルチク大臣は、ポーランドは自らを欧州の不法ゴミ集積場にさせてはならないと述べ、2週間以内に不法なゴミの集積及び廃棄を阻止するための新たな政策を提案するとしている。政府広報局によると、現在国内に約120か所のゴミの不法集積場が存在するとされる。

マクロ経済動向・統計

4月の財政収支【25日】

財務省は、4月の財政収支は93億ズロチの黒字となったと発表した。2018年1月から4月までの歳入は1,252億ズロチで、前年同期比83億ズロ

チ増となった。経済専門家は、個人所得税(前年同期比17.9%増)及び法人所得税(前年同期比15.4%増)の税収増加が歳入増に寄与したと分析している。

ポーランド産業動向

クフィエチンスキ投資・開発大臣、港湾の強化について言及【28日】

クフィエチンスキ投資・開発大臣は、新しい計画の実施により、バルト海でのポーランドの港の優位性を再構築すると述べた。世界の中で80%の商品輸送を担う海上輸送は重要で、陸側、海側両方のインフラが必要とされている。

アサヒグループHDにおける中東欧戦略【28日】

アサヒグループHD社長の中東欧地域統括会社であるアサヒ・ブルワーズ・ヨーロッパ社(ABE)は、2025年までに中東欧における同社の市場占有率を10%に高める。主力ビール「Kozel」を軸に、ポーランドにおけるビール消費量の増加を図る。

クフィエチンスキ投資・開発大臣、新たな投資政策への期待感を表明【28日】

クフィエチンスキ投資・開発大臣は、新たな投資支援法案が6月末に施行予定と述べた。(従来の経済特区から)都市や農村も含めた国内全体を単一地域と捉えて投資戦略を行い、地域間格差の是正、高付加価値の投資促進を図る。

ポーランドのスーパーコンピュータに関する取組【3

0日】

ポーランドは、欧州委員会が推進するスーパーコンピュータのインフラ構築に向けた国際的なプログラム(European High Performance Computing Joint Undertaking)への参画を決定した。科学・高等教育省は、参画によりポーランドの科学の国際化や研究の質の向上のみならず、ポーランドの経済に好影響をもたらすとしている。なお、同プログラムは2019年から開始予定。

エネルギー・環境**中国等からのポーランド政府に対する原子力発電所に関する提案【25日】**

トフジェフスキ・エネルギー大臣は既に複数の国(中国・韓国等)から原子力発電所の建設に関する提案を受けており、最も安価なのが1MW当たり1,290万ズロチ(300万ユーロ)としている中国の提案で、韓国も1MW当たり1,500万ズロチ(350万ユーロ)と提案していると述べた。同大臣は2040年までに建設する予定の3~5GW(3,000~5,000MW)の原子力発電所の予算を750億ズロチから500億~600億ズロチへと削減する意向を示しており、中国や韓国の提案は、この方針に適合

する。

太陽電池パネル設置数の増加【29日】

ポーランドで太陽電池パネルの設置数が急速に増加している。ポーランドの企業連合体PTPiREE(The Polish Electricity Transmission and Distribution Society)の報告書によれば、2015年には4,700機、2016年には16,100機、2017年には28,700機となっている。補助金や電気モビリティの開発により2018年には30,000機、2019年には50,000機から100,000機となることが見込まれている。

大使館からのお知らせ**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン、フランス等で新たなテロが発生しており、今年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、

政府関連施設(特に軍, 警察, 治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について

海外に在留する邦人の子女への教育振興を目的に活動する公益財団法人・海外子女教育振興財団は、海外子女教育専門の教育相談員による教育相談を実施しているところ、この度、いじめに関しても相談を受け付けることとなりました。詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム

電話: 81-3-4330-1352(受付時間: 月～金曜 10時～16時)

Eメール: soudanjigyol@joes.or.jp

国際機関への就職に関心がある皆様へ

在ポーランド日本国大使館では、国際機関への就職に関心がある日本人の方を対象に、外務省国際機関人事センター作成の資料を配付しています。御希望の方は、大使館広報文化センターへお問い合わせください。

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本人形展: 魔法・民族・神話【3月3日(土)～6月3日(日)】

グダンスク市にて、グダンスク国立博物館民族誌部主催による『日本人形展: 魔法・民族・神話』が開催されます。日本人形、ひな人形、こけし、だるまなどが展示中です。

開催場所: グダンスク市 (ポモージェ県), グダンスク国立博物館民族誌部, ul. Cystersów 19

詳細: <https://www.facebook.com/MuzeumNarodoweGdansk/>

【開催中】 展示会: 「文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び」【4月7日(土)~6月30日(土)】

ワルシャワ市にて、アジア太平洋博物館主催による展示会『文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び』が開催されます。お手玉、けん玉、竹とんぼ、あやとり、手まり、こま、将棋などが展示中です。

開催場所: ワルシャワ市, アジア太平洋博物館, ul. Sołec 24

詳細: <http://www.muzeumazji.pl/>

【開催中】 ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ【4月27日(金)~11月11日(日)】

ゾリ市にて、ゾリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ』が開催中です。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ズリ市 (シロンスキエ県), ズリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細: <http://muzeum.zory.pl/>

【開催中】 日本の浮世絵展「女: 美・力・忘我」【5月15日(火)~8月15日(水)】

ワジェンキ公園にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。

開催場所: ワルシャワ市, ワジェンキ公園, ul. Agrykola 1

詳細: <https://www.lazienki-krolewskie.pl/pl>

【開催中】 第21回トシェンサチ市・ポビエロヴォ市の国際ギターミュージックフェスティバル・コンクール【5月31日(木)~6月2日(土)】

トシェンサチ市・ポビエロヴォ市にて、トシェンサチ・ギター協会主催による『第21回トシェンサチ市・ポビエロヴォ市の国際ギターミュージックフェスティバル・コンクール』が開催中です。ギター五重奏団 TWINKLE, 国際新堀芸術学院の寺田和之氏及び吉田佳正氏によるコンサートが予定されています。

開催場所: トシェンサチ市・ポビエロヴォ市 (西ポモージェ県)

詳細: <http://www.gitarowytrzesacz.pl/>

【予定】 ヴロツワフの日本文化フェスティバル「日本の波」【6月9日(土)~10日(日)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『ヴロツワフの日本文化フェスティバル「日本の波」』が開催されます。落語、盆栽、日本食、日本音楽、武道、書道の紹介・ワークショップ等が予定されています。

開催場所: ヴロツワフ市 (ドルノシロンスキエ県), Teatr Piosenki IMPART, ul. Mazowiecka 17

詳細: <http://nihonnonami.pl/>

【予定】 子供向け文学ピクニック【6月10日(日)】

ワルシャワ市にて、アダム・ミツキエヴィチ文学博物館主催による『子供向け文学ピクニック』が開催されます。日本の文化・習慣・文学に関するワークショップなどが予定されています。

開催場所: ワルシャワ, アダム・ミツキエヴィチ文学博物館, ul. Rynek Starego Miasta 20

詳細: <http://muzeumliteratury.pl/>

【予定】 第6回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月16日(土)11時30分~19時】

ポーランド商工会, 日本人会, 日本大使館主催による第6回「日本祭り」がワルシャワのスウジェフ文化センターで開催されます。様々なステージ演目, 武道, 着付け, 書道, マンガ, 生け花, けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に, 観光情報コーナーや企業展示, 日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所: ワルシャワ市, Służewski Dom Kultury, ul. Jana Sebastiana Bacha 15

詳細:

フェイスブック <https://www.facebook.com/MatsuriPiknikJaponski>

ウェブサイト <http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

【予定】ピクニック：日本とのファミリーミーティング【6月16日(土)】

トルン市にて、県立図書館クシオンジュニツァ・コペルニカンスカ主催による『クシオンジュニツァでのピクニック：日本とのファミリーミーティング』が開催されます。折り紙・書道ワークショップ、日本に関する展覧会、写真展、武道デモンストレーション等が予定されています。

開催場所：トルン市（クヤヴィ＝ポモージェ県）、Książnica Kopernikańska, ul. Słowackiego 8

詳細：<http://ksiaznica.torun.pl/>

【予定】ヴァルミア＝マズールィ県極真空手選手権大会【6月17日(日)】

オルシュティン市にて、オルシュティン極真空手クラブ主催による『ヴァルミア＝マズールィ県極真空手選手権大会』が開催されます。

開催場所：オルシュティン市（ヴァルミア＝マズールィ県）、Hala Widowiskowo-Sportowa „URANIA”, ul. Piłsudskiego 44

詳細：<http://www.karate.olsztyn.pl/>

【予定】書道展：中東欧の書道コンクール 2018【6月18日(月)～7月6日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、ワルシャワ日本語学校が主催する、中東欧書道コンクールの書道作品を展示します。入場は無料です。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51 (4階)、Warszawa）

【予定】講演会「村上だけではない！ポーランドにおける現代日本文学」【6月21日(木)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、ワルシャワ大学日本文学学科バイス氏による講演が予定されています。（講演言語：ポーランド語）

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51 (4階)、Warszawa）

読者からのお知らせ

【予定】福島原発事故7周年記念の集い【6月6日(水)18:00～】

ワルシャワ市にて、『福島 10 の教訓』ブックレット・ポーランド語版翻訳委員会主催による『福島原発事故7周年の集い』が開かれます。翻訳委員会発起人・五十嵐康弘氏による一年間のブックレット配布活動の報告に続き、ワルシャワ大学日本文学学科 ベアタ・クビアク・ホチ教授による東日本大震災の被災地訪問の報告、松原保監督のドキュメンタリー映画『被ばく牛と生きる』の紹介と短縮版の上映が行われます。入場無料。（使用言語：ポーランド語）

開催場所：Stacja Muranów ul. Gen. Andersa 13, Warszawa

詳細：<https://web.facebook.com/events/173667413254908/>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)